



平成 30 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 東洋製罐グループホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 大塚 一男
(コード番号 5901 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役執行役員 小笠原 宏喜
総務・法務担当兼総務部長
(TEL 03-4514-2001)

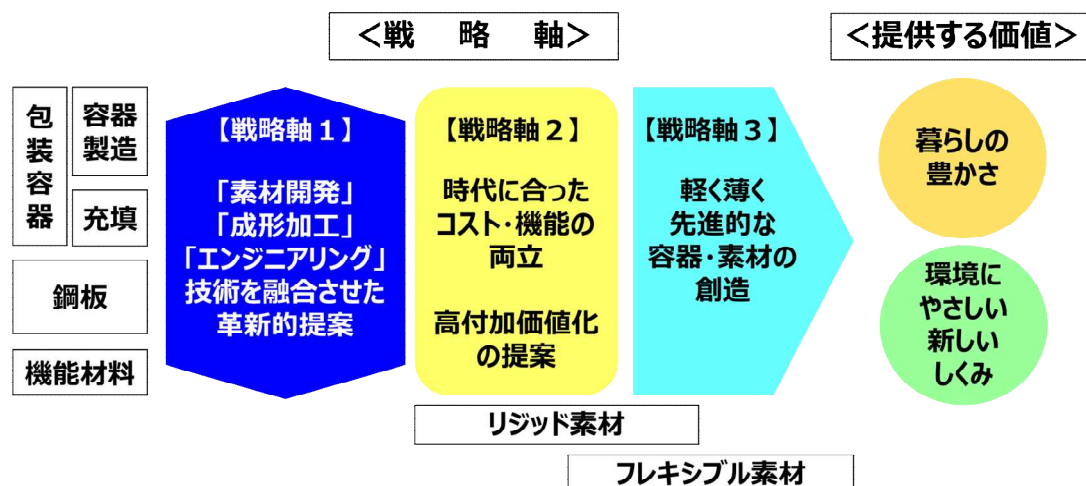
当社（東洋製罐グループホールディングス株式会社）における 新たな組織体制について

当社は、2018 年 5 月 15 日付「東洋製罐グループ中期経営計画の策定に関するお知らせ」において公表しましたとおり、2018 年度から 2020 年度までの 3 ヶ年計画である「東洋製罐グループ第五次中期経営計画」（以下、「本中期経営計画」といいます。）の実行を進めております。

本中期経営計画の下、機動的な事業運営を実現し、お客様へ永続的な価値をグループが一体となって提供する機能・組織のありかたについて検討を行いました。当初計画では、2020 年 4 月 1 日を組織体制見直しの目標時期としておりましたが、1 年前倒しし、2019 年 4 月 1 日発足を目標として、持株会社である当社の組織体制を見直すことといたしました。その概要は以下のとおりです。

1. 本中期経営計画における成長戦略の実現に向けた機能・組織のあり方について

当社グループは、包装容器関連事業、鋼板関連事業、機能材料関連事業の 3 つのセグメントに渡り、東洋製罐グループが培ってきた「素材開発」・「成形加工」・「エンジニアリング」の保有技術の融合を進め、オープンイノベーションと I o T、A I 技術を活用した新しい価値の提供を加速させることを、本中期経営計画における成長戦略の中核に据えております。



これらの戦略の実行に向けて、当社グループの機能・組織についても、従来の容器・素材の枠組みを超えて、グループの既存の事業セグメントにとどまらない価値の創造と提案が実現できる体制へと変更いたします。

2. グループの新たな機能・組織について

東洋製罐グループの各社が、それぞれ培った実績・経験・信頼を今後も継承・発展させながら、グループが一体となって、「暮らしの豊かさ」「環境にやさしい新しいしくみ」を提供するために、当社において、会社の枠組みを超えてグループの総合力を発揮させる、新たな機能を持つ組織を編成いたします。

【当社が強化する機能】

(1) グループ顧客ソリューション・技術開発機能

当社は、グループ各社が持つ技術やノウハウを結集させ、省資源化、ユニバーサルデザイン、リサイクル、フードロス、マイクロプラスチックなどに代表される中長期的な社会的課題の受け皿、およびお客様の多様なニーズの窓口となり、お客様、消費者、社会に向けて新たな付加価値を提供いたします。

(2) グループエンジニアリング機能

世界のパッケージメーカーにおいて当社グループのみが保有するバリューチェーン、すなわち「素材開発」・「成形加工」・「エンジニアリング」の技術を融合させ、お客様に対して当社グループ独自の差別化した提案をいたします。

(3) グループ事業イノベーション機能

産学連携、異業種交流などのオープンイノベーションを活用しながら、新たな事業創出および市場開拓に取り組み、「暮らしの豊かさ」と「環境にやさしい新しいしくみ」を追求いたします。

3. 今後の予定

2019年4月1日より、新たな組織体制の発足を予定しております。

組織・人事の詳細等につきましては、今後決定次第すみやかに公表いたします。

以上